

# かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第16回事業者活動部会結果

(開催日：平成27年2月9日)

第16回事業者活動部会では、平成26年度のごみ処理の現状を分析し、課題抽出を行いました。

そのうえで、平成27年度の取り組みとして、「かつしかルール」、「ごみ減量の日」、「ごみ減量月間の実施」についての検討を行いました。

そして、今回の検討結果については2月23日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

## 1 葛飾区のごみ処理の現状について

### (1) 葛飾区のごみ減量目標値と実績

葛飾区では、平成32年度までのごみの減量目標として、「家庭ごみ」「事業系ごみ」「ごみと資源の総量」の3つの項目に達成すべき目標値を設けて計画を策定しています。

#### 【12月末までの家庭ごみ量の比較】

|         | H25.12 末<br>まで実績 | H26.12 末<br>まで実績 | 減少量      | 前年比    |
|---------|------------------|------------------|----------|--------|
| 燃やすごみ   | 61,793 t         | 60,581 t         | -1,212 t | 98.0 % |
| 燃やさないごみ | 2,787 t          | 2,773 t          | -14 t    | 99.5 % |
| 粗大ごみ    | 2,200 t          | 2,184 t          | -16 t    | 99.3 % |
| 計       | 66,780 t         | 65,538 t         | -1,242 t | 98.1 % |

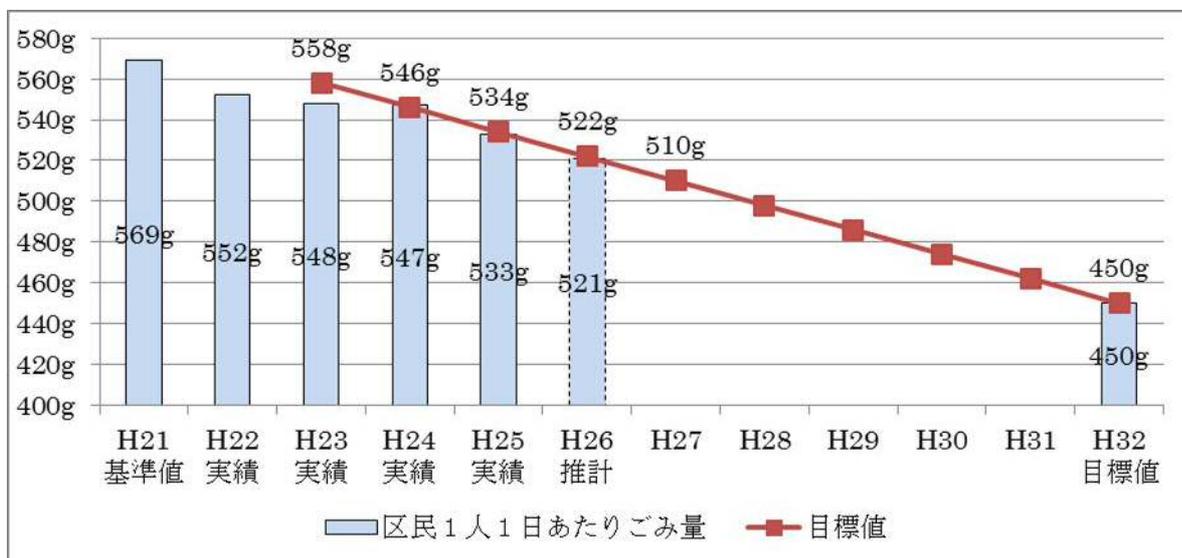
12月末現在のごみ量を比較すると、25年度に比べ26年度は-1,242 t (1.9%) の減量となります。「事業系ごみ量」「資源量」は未確定です。

#### ○目標1

**平成32年度までに区民1人1日あたりのごみ量を約20%(120g)削減します。**

区民1人1日あたりのごみ量は減少傾向です。26年度は昨年度に比べ12gの減少で、目標の522gに比べ521gと1g減となる見込みです。

#### 【区民1人1日あたりのごみ量】



## ○目標2

### 平成32年度までに事業系ごみの年間総排出量を約20%(5,700t)削減します

26年度の事業系ごみ量はまだ未確定であるため、昨年度と同量としています。25年度まで年間総排出量は目標値を下回っています。

#### 【事業系ごみ年間総排出量】

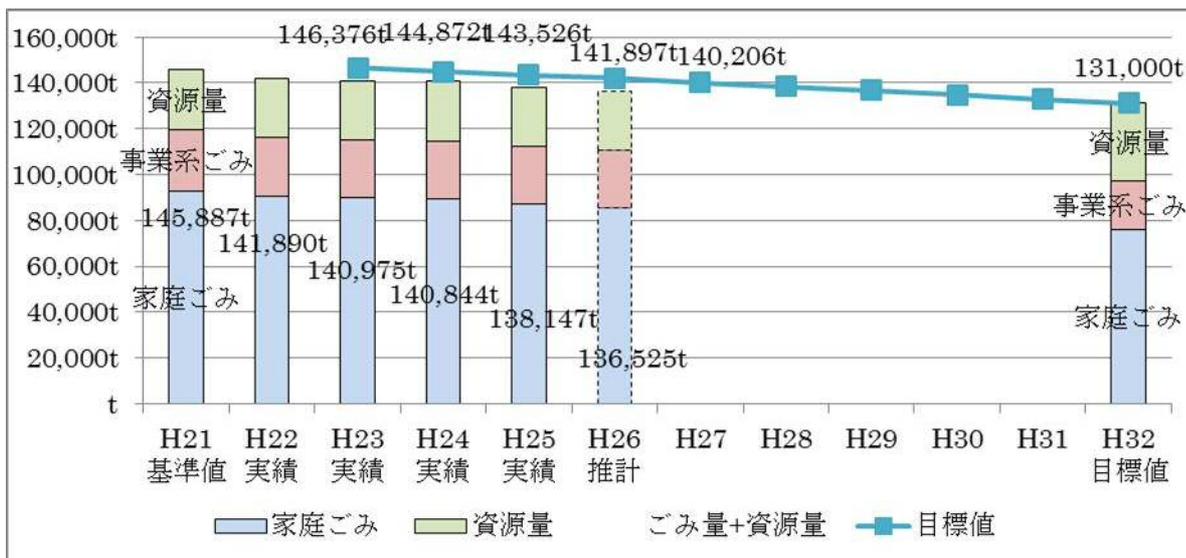


## ○目標3

### 平成32年度までにごみと資源の年間総排出量を約10%(15,000t)削減します。

26年度の事業系ごみ量と資源量はまだ未確定であるため、昨年度と同量としています。25年度まで年間総排出量は目標値を下回っています。

#### 【ごみと資源の年間排出量】

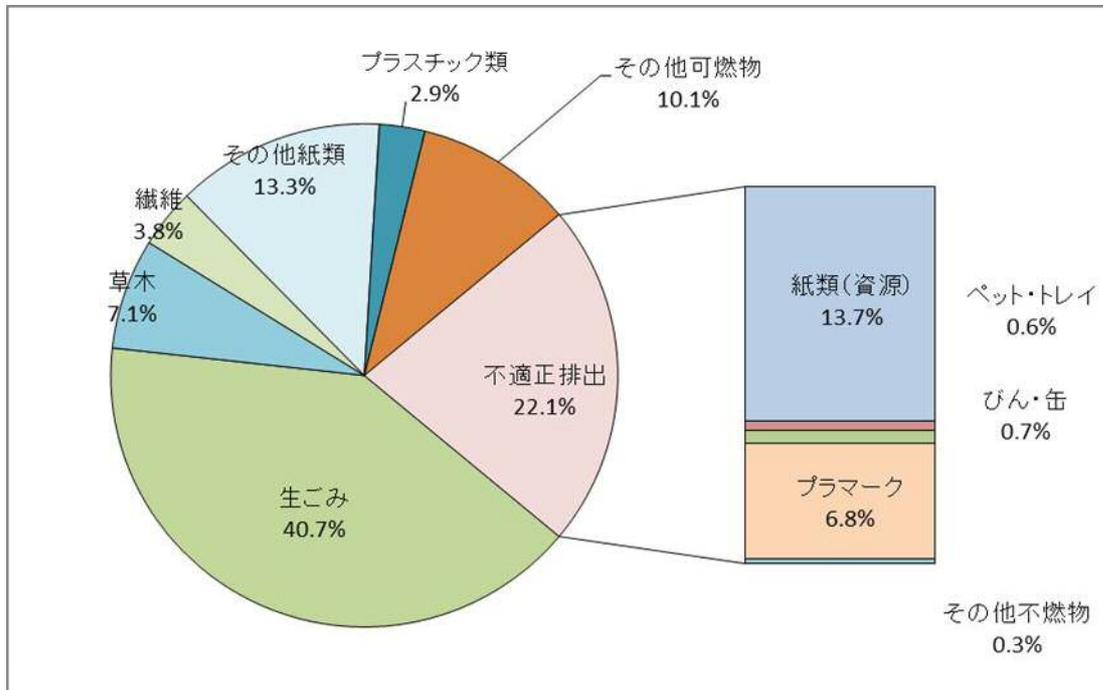


## (2) 燃やすごみの排出状況～葛飾区ごみ性状調査より～ 葛飾区のごみ

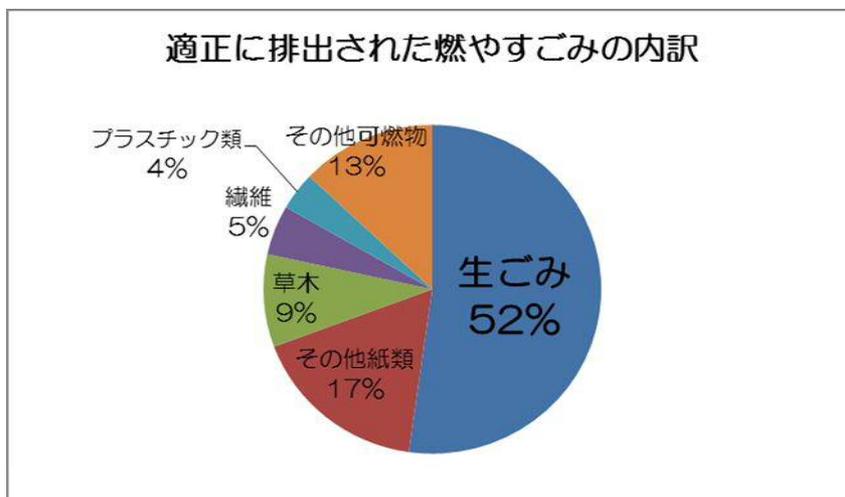
今年度実施した「葛飾区ごみ性状調査」では、平成24年度と比較して、適正に排出されたごみやプラマークの割合が減少しました。

| 適正排出割合  |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| 種類      | 平成21年度 | 平成24年度 | 平成26年度 |
| 燃やすごみ   | 76.6%  | 82.2%  | 77.9%  |
| 燃やさないごみ | 63.3%  | 80.5%  | 79.0%  |
| プラマーク   | 61.1%  | 83.6%  | 80.9%  |

最も適正排出割合の低い「燃やすごみ」を例に内訳を見ると、主に紙類とプラマークが「資源」や「プラマーク」の日に排出されず、「燃やすごみ」として出されていることがわかります。



一方、適正に排出された「燃やすごみ」の多くを生ごみが占めています。



### (3) 各種調査にみる区民の意識

例年かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会が実施している「ごみ減量キャンペーン」での街頭アンケートに加えて平成26年度は、無作為に抽出された区民や事業者に対して、ごみの減量・リサイクルに関わるアンケート調査をおこないました。

#### ① ごみ減量キャンペーンでの街頭アンケート（毎年実施）

※葛飾区内の商店街やスーパーマーケット、駅前など13カ所で2,328名を対象に実施したごみ減量に関する意識調査

#### ② ごみ減量・リサイクルに関わる区民アンケート（今年度のみ実施）

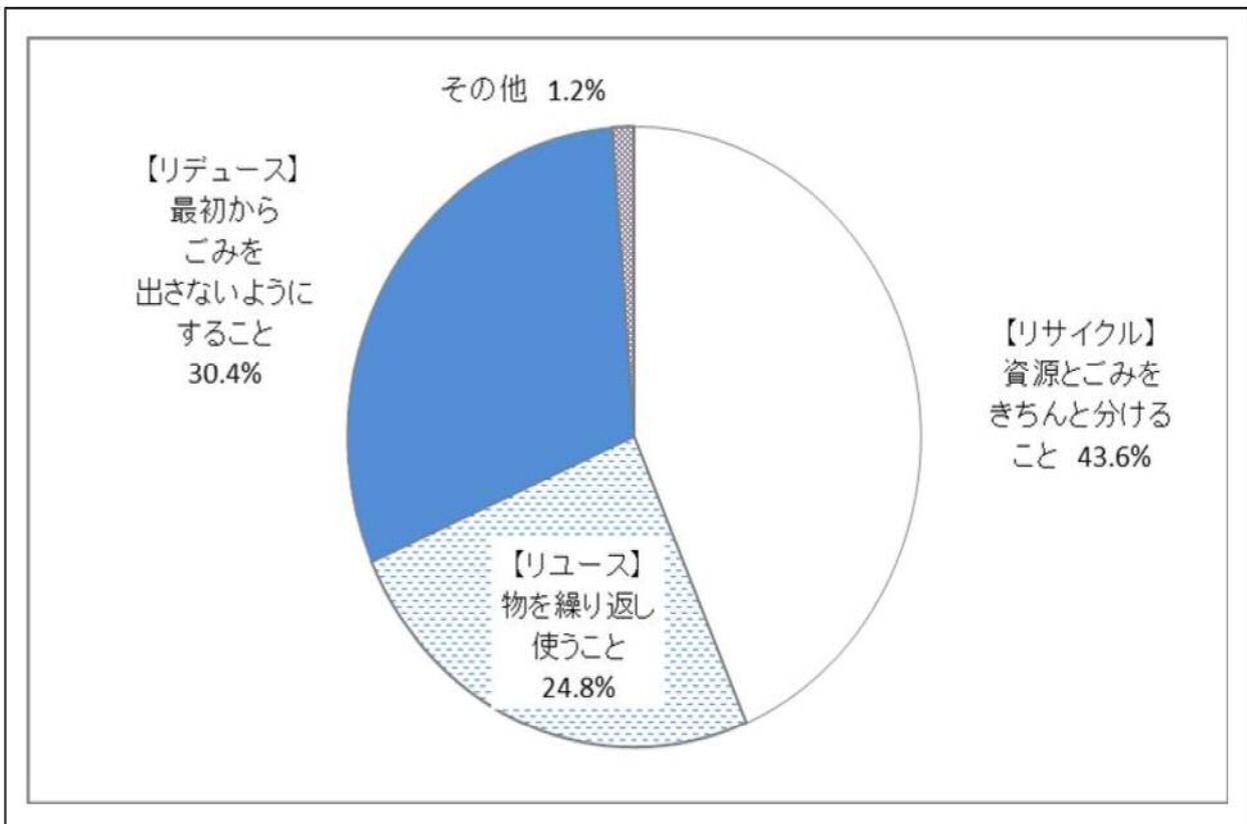
※葛飾区住民基本台帳等から無作為に抽出された3,000世帯を対象に実施したごみ減量・リサイクルに関わる意識調査

#### ③ ごみ減量・リサイクルに関わる事業者アンケート（今年度のみ実施）

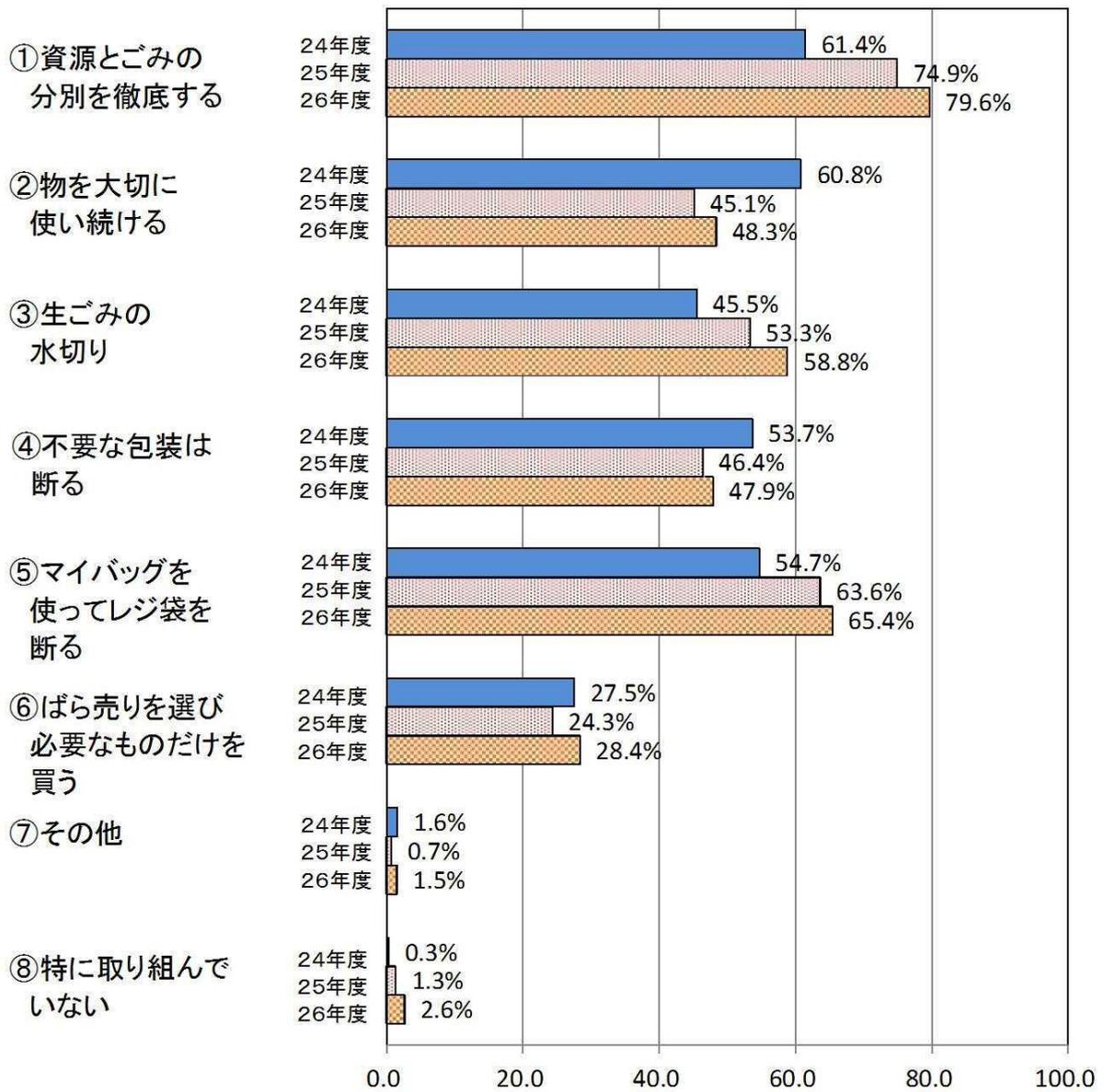
※NTTタウンページ事業所リストから業種ごとに抽出された3,100箇所を対象に実施したごみ減量・リサイクルに関わる意識調査

#### ① ごみ減量キャンペーンでの街頭アンケート

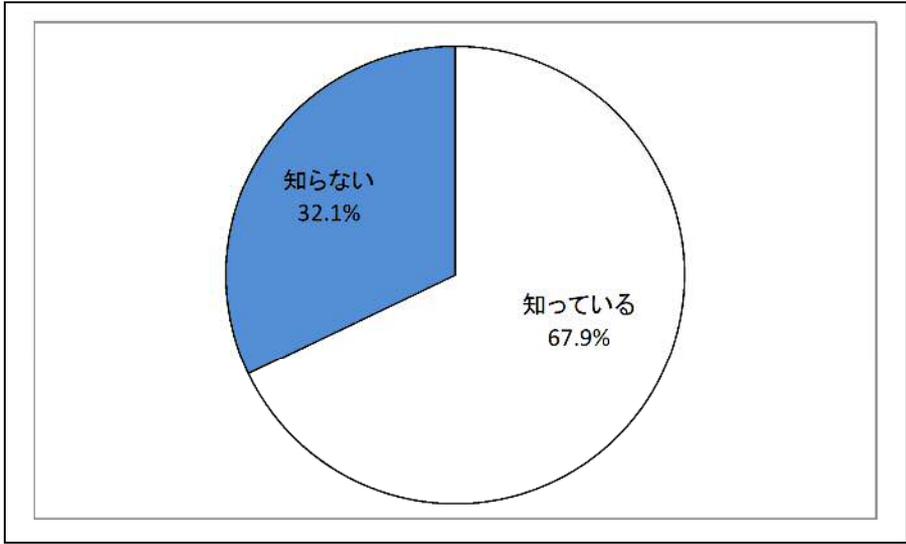
問1 ごみを減らすために一番大切なことはどれだと思いますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。（有効回答数 3,827）



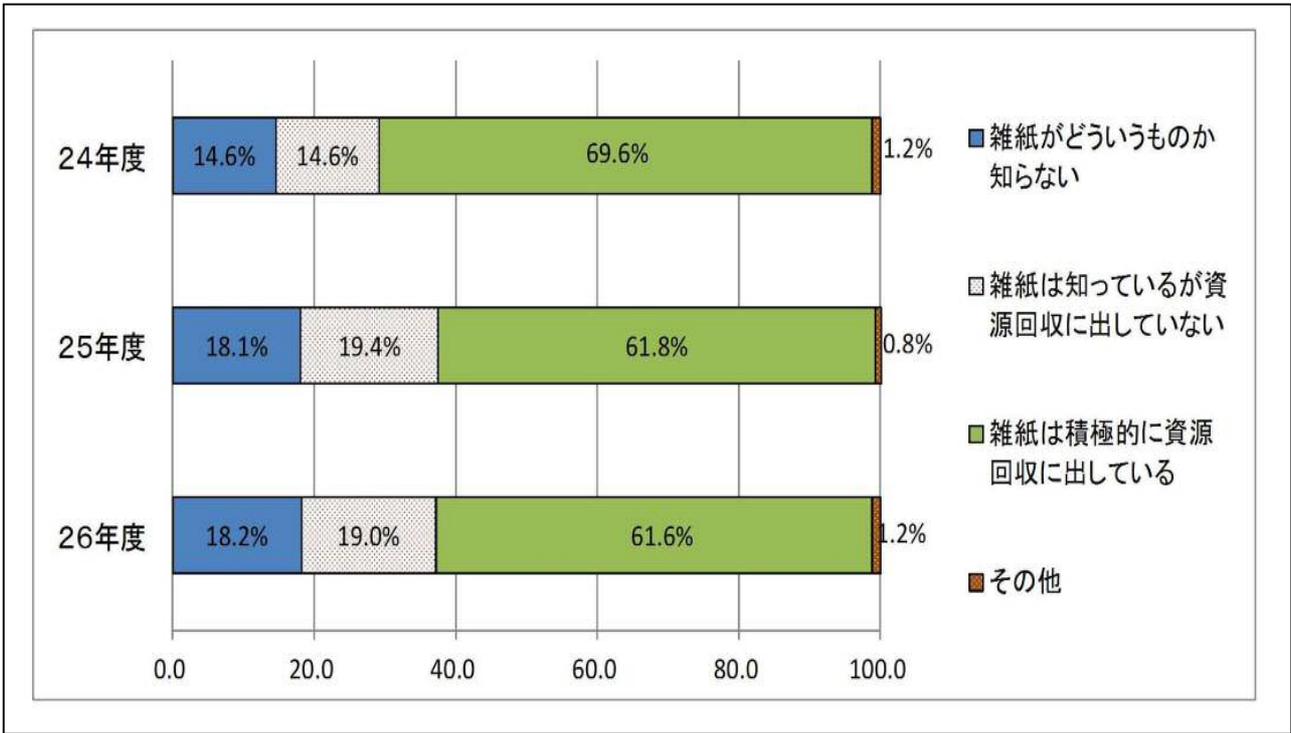
問2 あなたは、ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(有効回答数 7,739)



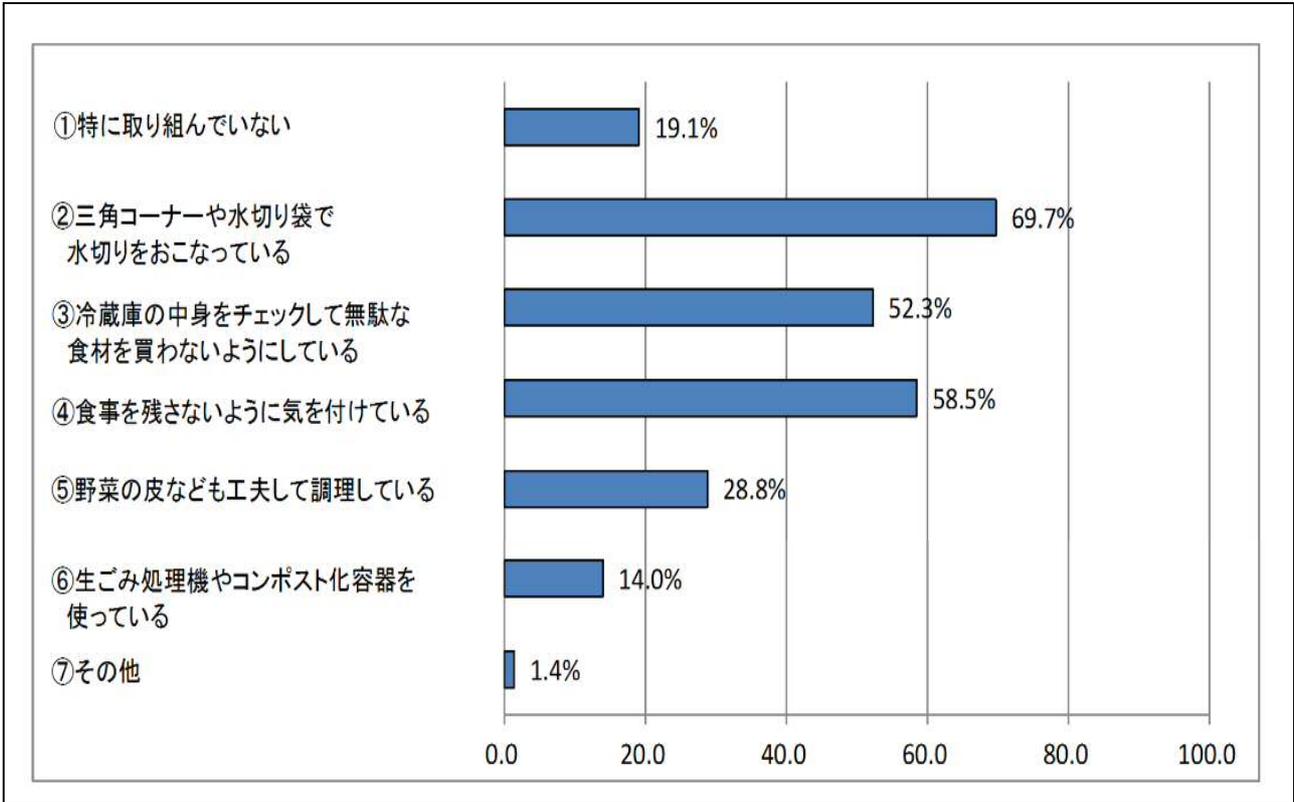
問3 かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、「ごみを減らすためにこれだけは実践しましょう」という取り組みを「かつしかルール」として呼び掛けています。「かつしかルール」をご存じですか。いずれか一つに○をしてください。(有効回答数 2,015)



問4 「かつしかルール」として、「雑紙（ざつがみ）の分別」を呼び掛けています。新聞・段ボール・雑誌・牛乳パックと同様に、リサイクルできる紙類である「雑紙（ざつがみ）」を資源回収に出していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(有効回答数 2,568)

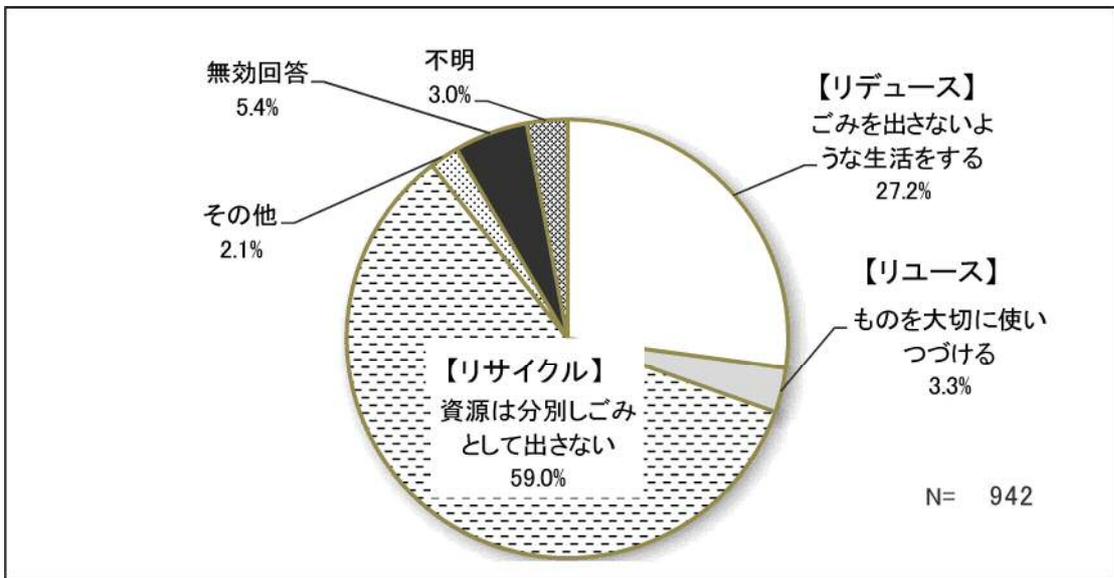


問5 「かつしかルール」として、「生ごみの減量」を呼び掛けています。日頃から生ごみの減量に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(有効回答数 5,673)

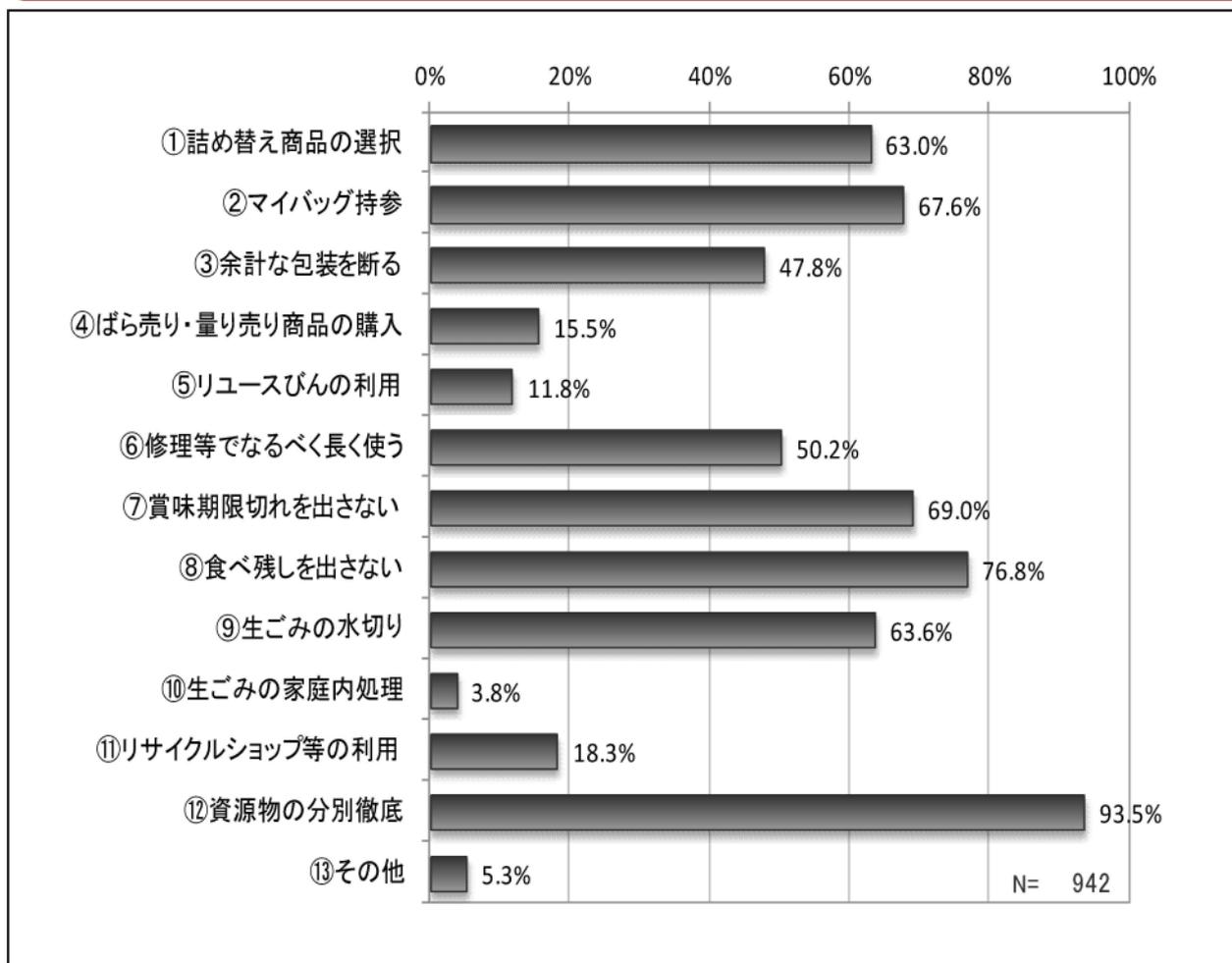


② ごみ減量・リサイクルに関わる区民アンケート（一部抜粋）

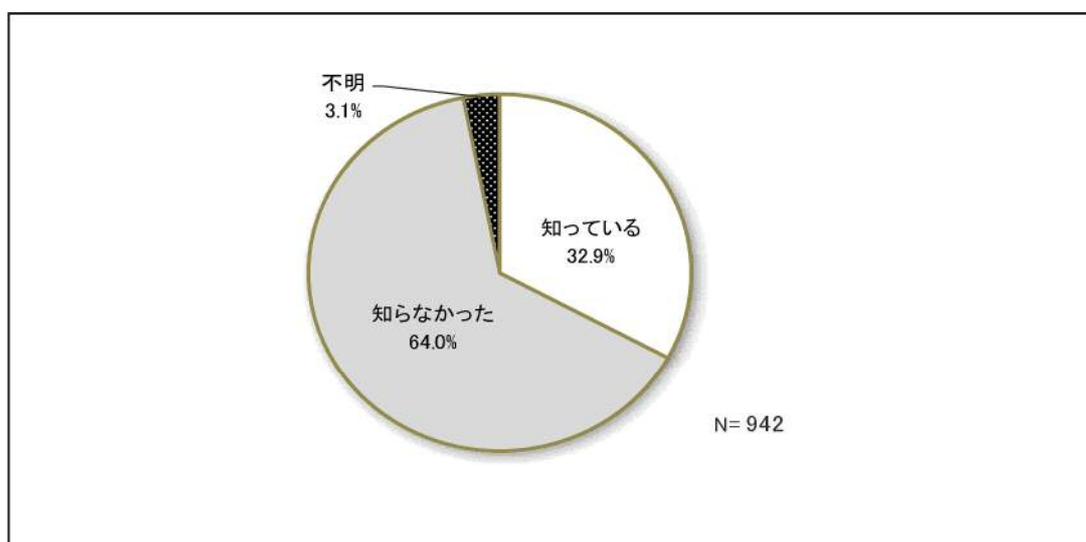
問1 あなたは、ごみ減量のために一番大切なことはどのようなことだと考えますか。(○は1つ) (有効回答数 942)



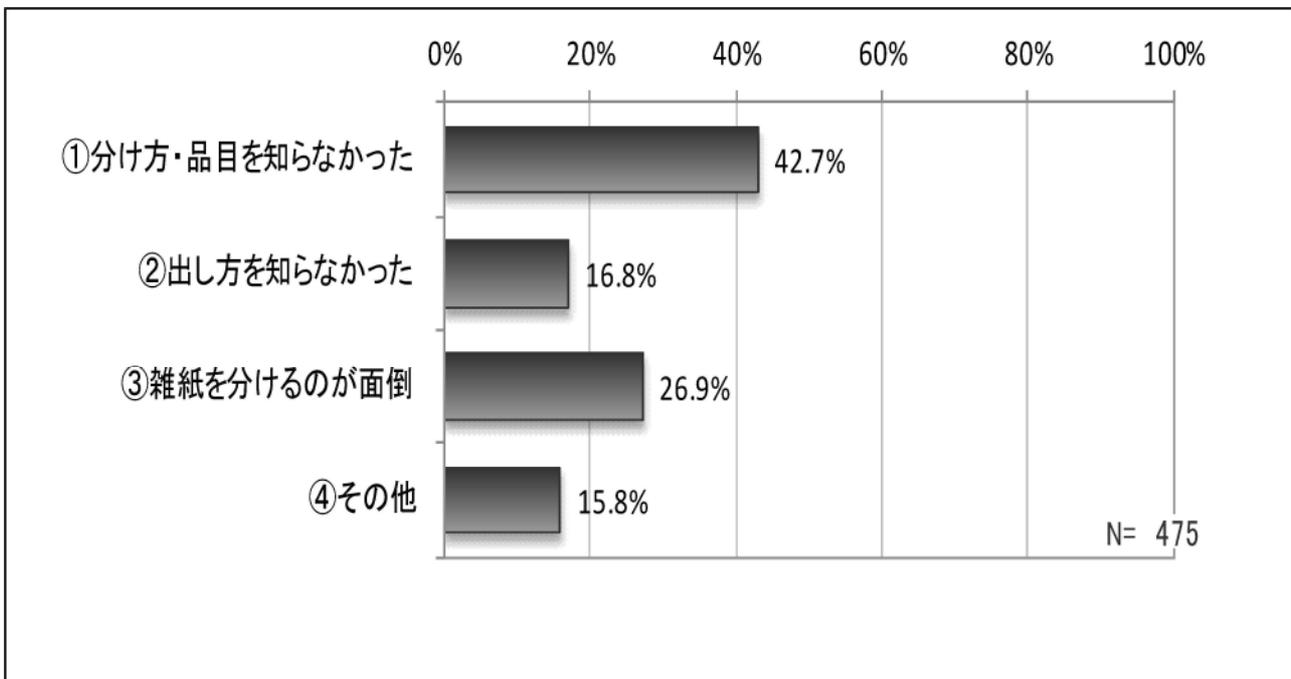
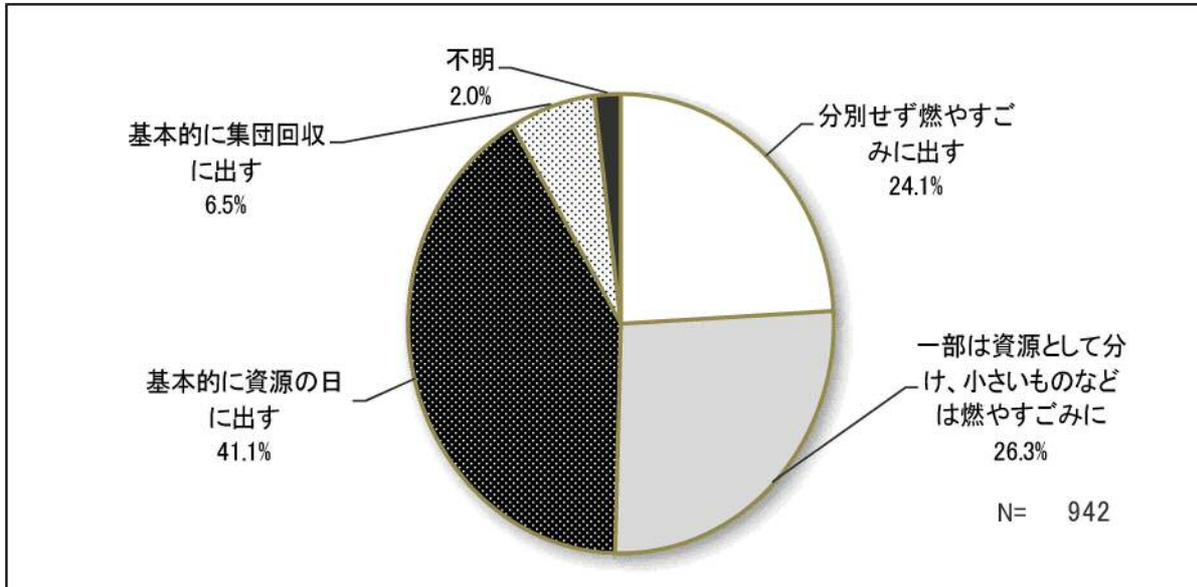
問2 あなたが、日頃ごみ減量のために行っていることに○を付けてください。(○はいくつでも) (有効回答数 942)



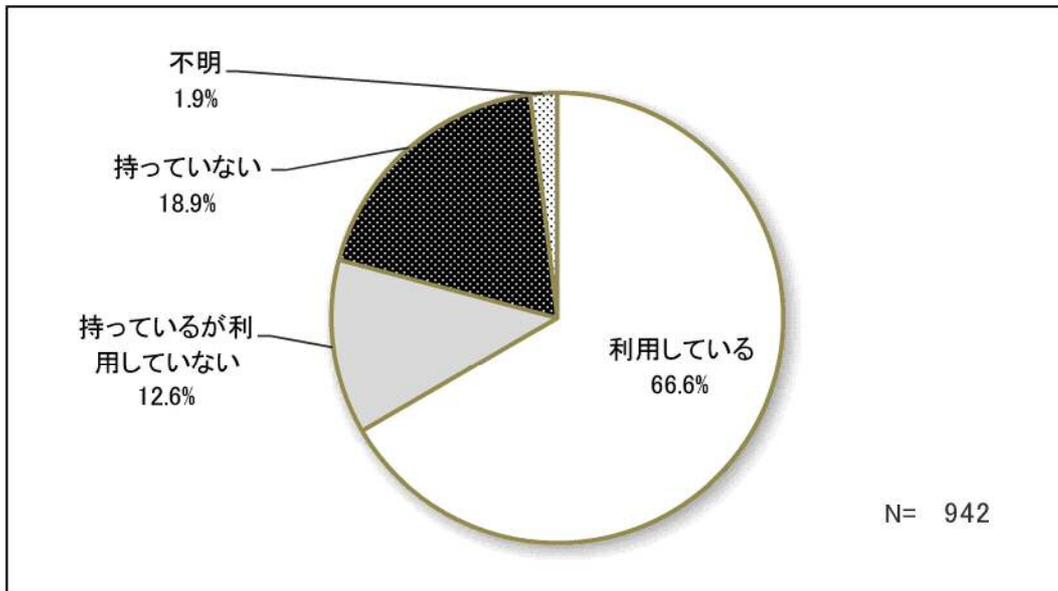
問3 「かつしかルール」をご存知ですか。(○は1つ) (有効回答数 942)



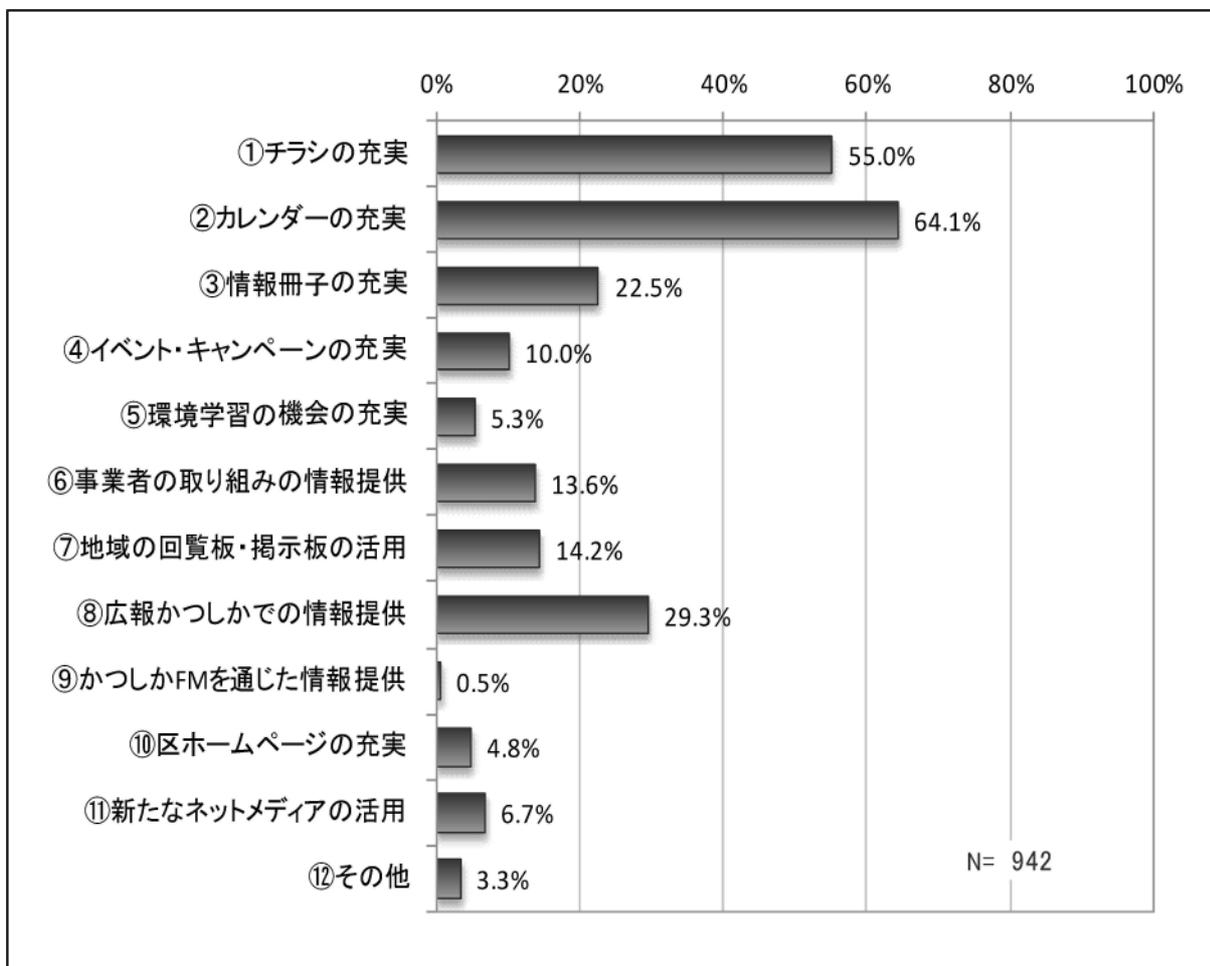
問4 紙箱・紙袋・包装紙、コピー用紙などの雑紙（ざつがみ）についてお聞きします。普段、雑紙の分別はどうされていますか。（○は1つ）（有効回答数 942）  
 また、「燃やすごみに出している」と選んだ方は、その理由をお答えください。（有効回答数 475）



問5 スーパーや商店での買い物の際マイバッグを利用していますか。(○は1つ)(有効回答数 942)

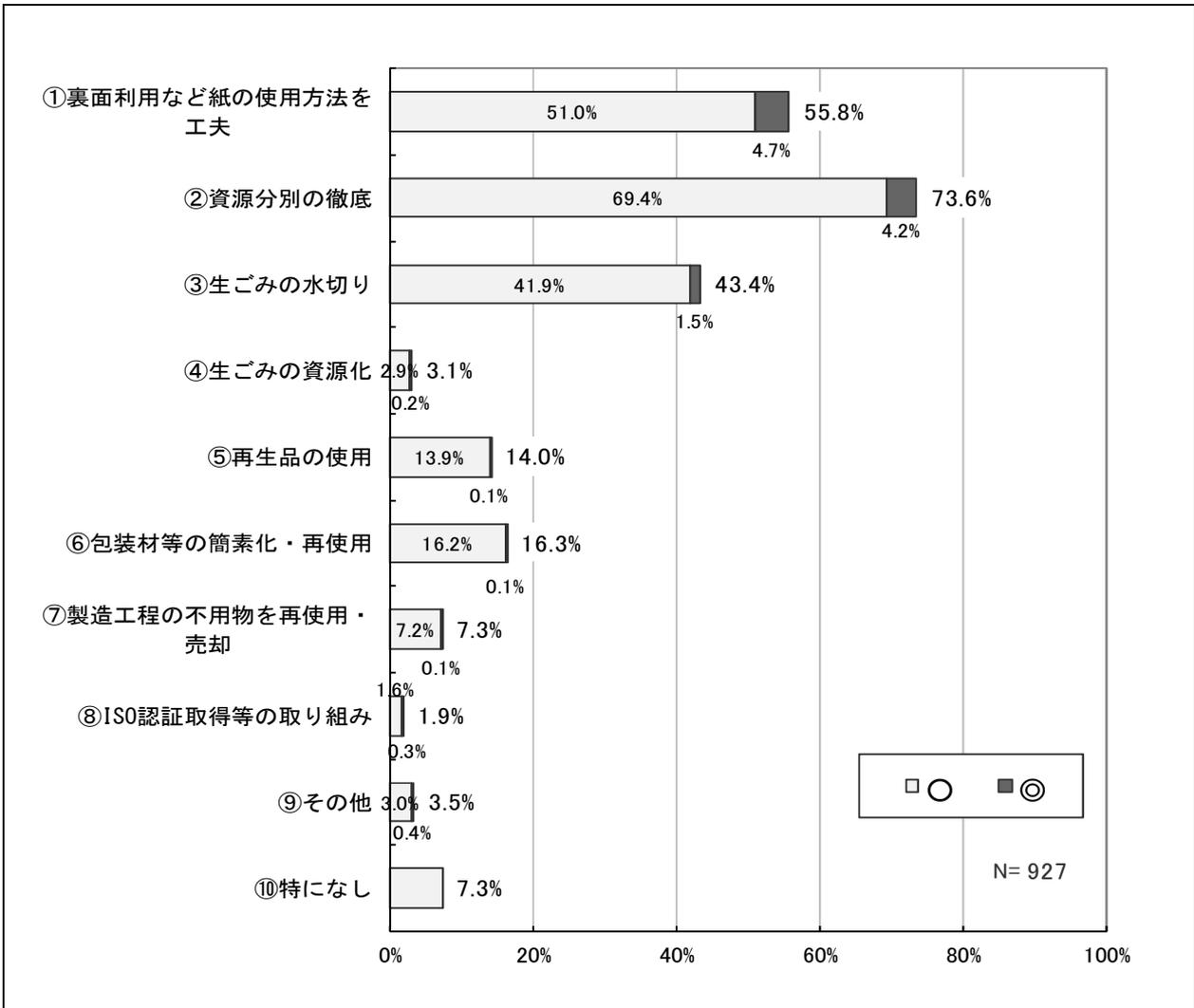


問6 今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。(○は3つまで)(有効回答数 942)

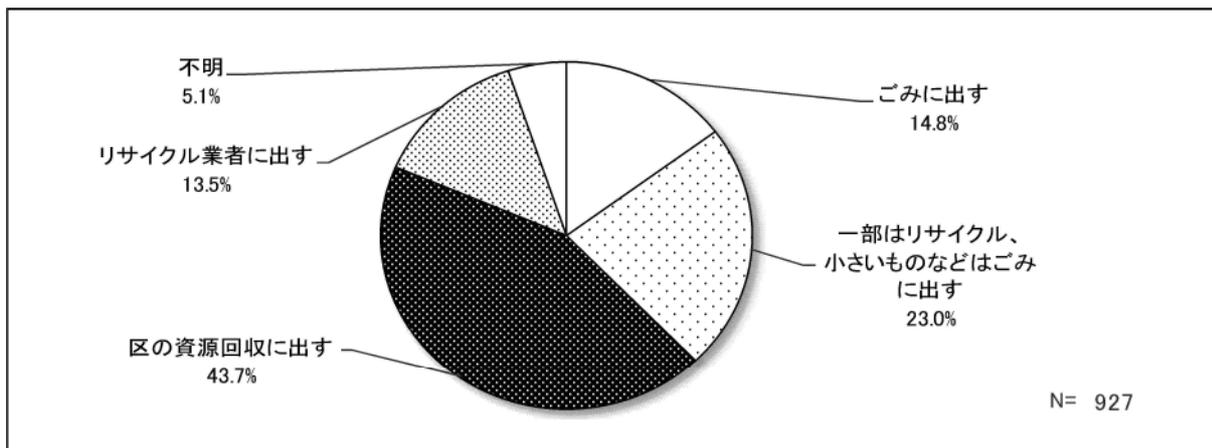


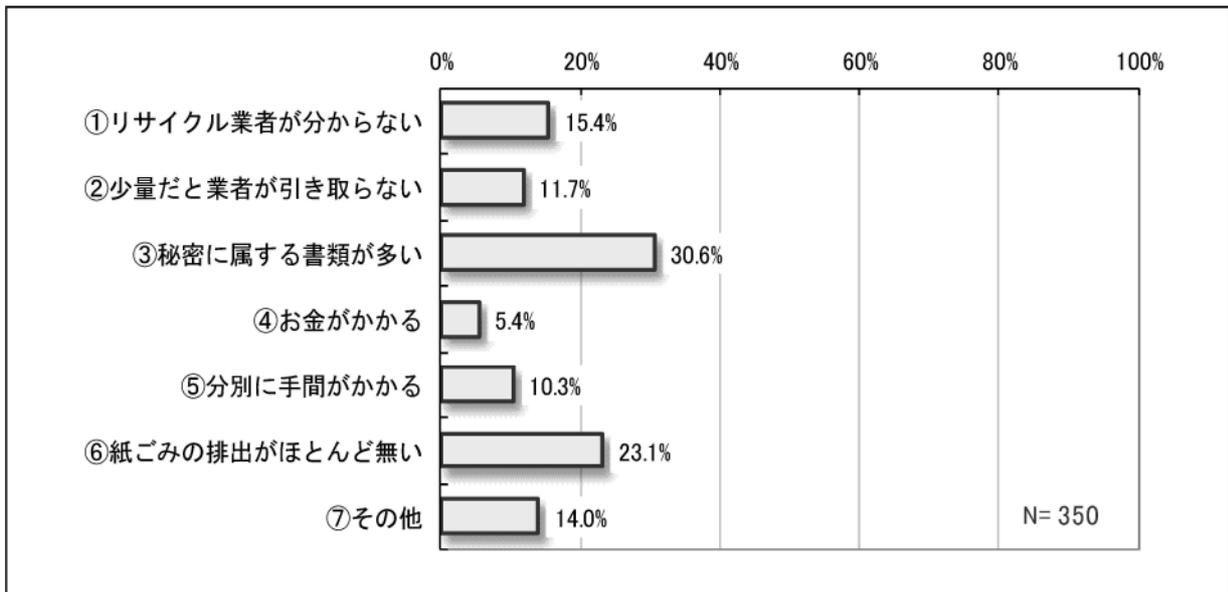
### ③ ごみ減量・リサイクルに関わる事業者アンケート（一部抜粋）

問1 貴事業所で実施しているごみ減量の取り組みに○を付けてください。（○はいくつでも）  
 その中で、十分にごみ減量の効果が上がっているものには◎をつけてください。（有効回答数 927）

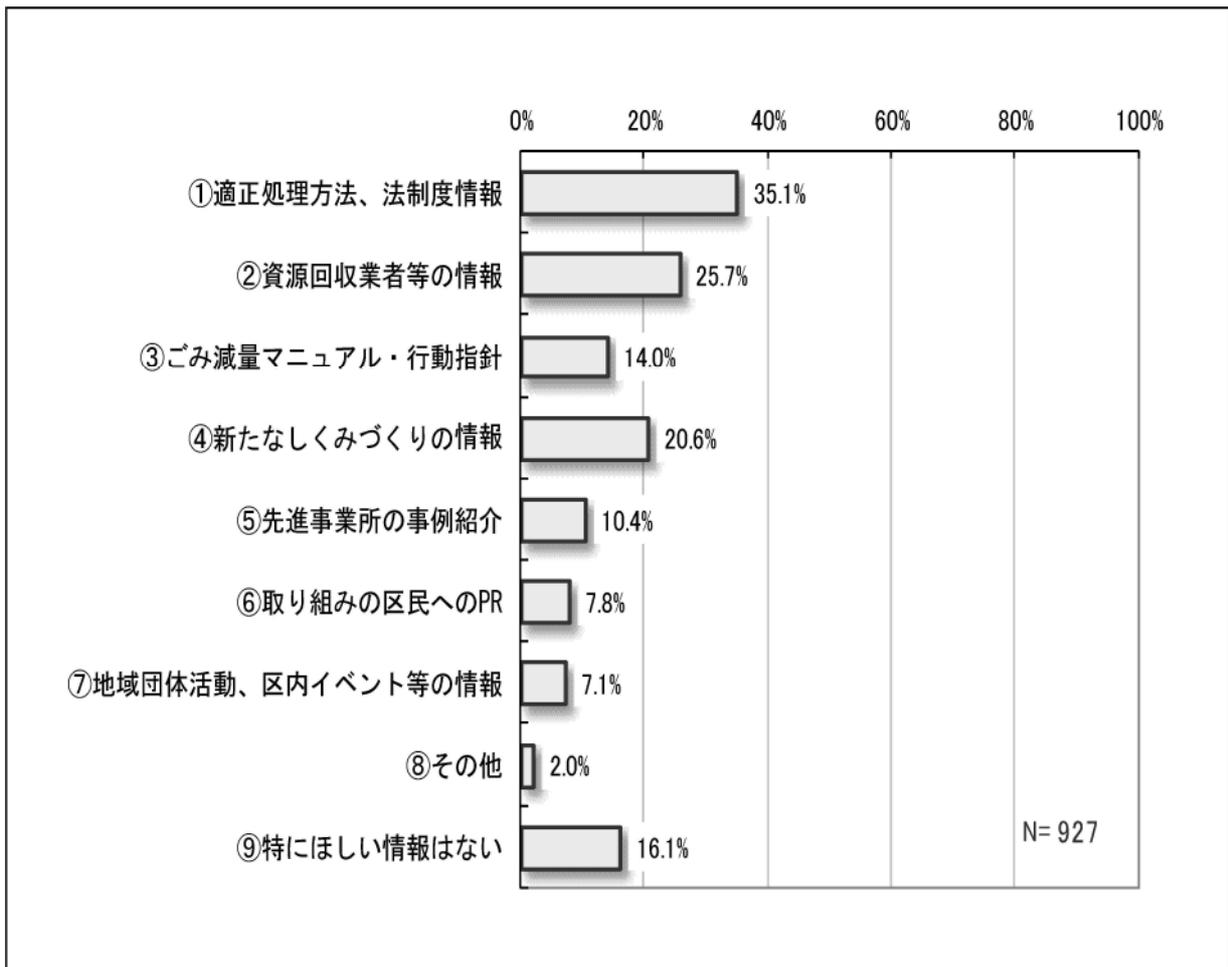


問2 新聞、雑誌、段ボール、紙箱・紙袋、包装紙、コピー用紙などの紙ごみについてお聞きします。普段、紙ごみの分別はどうされていますか。（○は1つ）（有効回答数 927）また、「ごみに出す」を選んだ場合は、その理由をお答えください。（有効回答数 350）





問3 今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。(〇は3つまで) (有効回答数 927)



## 2 調査等の結果を踏まえた現状の分析

### 葛飾区のごみ減量目標値と実績からわかること(P1~P2参照)

- ・区民・事業者の取組により、家庭ごみ量、ごみと資源の総排出量とも減少傾向である。
- ・家庭ごみは26年度の目標値を達成する見込みである。

### 燃やすごみの排出状況(ごみ性状調査)からわかること(P3参照)

・紙類やプラマークをできるだけ「資源」や「プラマーク」の日に排出できるように分別徹底していくことや、「燃やすごみ」の多くを占める生ごみの減量をすることにより、より一層のごみ減量を実現できる。

### 各種調査からみる区民の意識からわかること(P4~P12参照)

●ごみ減量のために一番大切なこと(3Rの意識・取組みについて)

**ポイント①** 「リデュース(発生抑制)」、「リユース(再使用)」の重要性が、まだ十分に認識されていない状況にある。

**ポイント②** 男女別では男性が、年齢別では若年層が、より一層のごみ減量行動の啓発が必要であるといえる。

**ポイント③** 事業者については、意識的に「リサイクル」に取り組んでいることがわかる。しかし「包装材等の簡素化・再使用」や「製造工程の不要物の再使用」、「再生品の使用」など「リデュース」や「リユース」の取組みについては1割~2割程度にとどまっている。

●かつしかルールの認知度

キャンペーンといったごみ減量啓発イベントに参加される方には浸透してきている一方で、区民全体にはまだまだ認知されていない状況にある。

●雑紙の分別の取組みについて

「雑紙とはどういうもので、どういう風に資源に出せばよいのか」ということをわかりやすく啓発していくことが必要である。中でも20代~30代の方への意識づけが重要であるといえる。

事業者については、燃やすごみとして出している数も多くいるようで、その理由としては「秘密に属する書類が多いから」「リサイクル業者がわからないから」といったものが多い状況にある。

●生ごみの減量の取組みについて

生ごみの減量に対して「水切り」や「食べ切り」に関して6割~7割の区民が取り組んでいる。しかし「野菜の皮などを工夫して調理する」といった「使い切り」や「生ごみ処理機などの家庭処理」など、一歩踏み込んだ減量方法の実践については1割~3割程度であり、今後は「手軽にできて効果が実感できるような手法」が求められている。

●マイバッグの利用について

マイバッグの利用について男女差が大きいことがわかる。今後はいかに男性のマイバッグ利用を呼び掛けていくか検討していく必要がある。

●今後区に望む情報提供やPR活動について

紙媒体での情報提供が根強い状況にある。一方で20代以下の若年層に対しては、他の世代に比べて「新たなネットメディアの活用」や「イベント・キャンペーンの充実」が期待されていることがわかる。

事業者については、「適正処理の方法や法制度」、「資源回収業者等の情報」など、「資源を正しく分別するための方法や仕組みをわかりやすく提供すること」が求められている。

## 委員からの意見

＜委員＞ ごみ量が減っているということだが、景気が悪くて消費量・生産量が下がっているからごみの排出量が減るという状況を加味しての数値になっているのか。

➤ ＜区＞ 今回の数値は平成22年度に立てた「一般廃棄物処理基本計画」に基づいて見込んだ数値であるので、今後景気の動向によって変わる部分もあるように思う。今年度その計画を見直す時期なので、景気の動向も含めて検討していきたい。

＜委員＞ アンケートではマイバッグの利用率が高いようだが、自分の周りでは利用率は低いように思う。増やすためにはどうしたらよいか。

➤ ＜委員（小売店）＞ 自社でも店舗全体のマイバッグ持参率は60%。東京に限定すると30%。レジ袋有料化を導入すれば伸びるかもしれないが、実施には至っていない。

➤ ＜区＞ レジ袋はやはり小さいごみ袋として便利なので重宝されている現状があると思うが、数年前に比べたらマイバッグの利用率は増えている。若年層をはじめ継続して呼びかけていくことが大切。

➤ ＜委員＞ 私は食料品の商売をしているが、男性客は買い物袋を持っていない傾向が高い。商店としてもレジ袋を減らすのは経費削減にもなるが、実際には「不愉快な思いをさせないために、レジ袋を渡す」という現状があるという面も考慮していただければと思う。

＜委員＞ 雑紙の分別に関しても40%となっているが、自分の周りではもっと多いように思う。アンケートについては単に調査を取るだけでなく、実際におこなっているかのチェックをしていかなければならないのではないか。

＜部会長＞ 先ほどのマイバッグの利用率に関しても、アンケートの60%に対して小売店側の調査では30%の利用率とのことだった。利用者側だけでなく、お店側のアンケートは取っていないのか。

➤ ＜区＞ 今回3種類のアンケートがあるが、1つ目のごみ減量キャンペーンの街頭アンケート及び2つ目の無作為に抽出された区民に対する区民アンケートに関しては、利用者側を調査したもの。3つ目の無作為に抽出された事業者に対する事業者アンケートに関しては、参考程度にはなるかと思うが、マイバッグが使われているお店側という視点からの調査はおこなえていない。

### 3 ごみ減量の取組に向けた課題

#### (1) 再生利用から発生抑制への意識転換

区民・事業者の取組により、家庭ごみ・事業系ごみは着実に減少し、資源量も増加しています。一方で区民の意識調査からもわかるように、「資源を分別し、ごみとして出さない」という「再生利用」の取組みをしている区民の割合が最も多く、「発生抑制」や「再使用」の重要性はまだ十分に認識されていない状況にあります。今後より一層のごみ減量を実現するためには、第一に「発生抑制」、次に「再使用」、最後に「再生利用」といった優先順位を意識した3R行動の促進を普及啓発し、実践につなげていくことが不可欠です。そこで「必要な量を買うこと」や「余計な包装を断る」といった「発生抑制」の行動を今まで以上にPRしていくことが大切です。

#### (2) 具体的でわかりやすい、手軽に実践してもらえる取組みの周知

ごみ減量の取組を普及啓発し、実践につなげていくためには、より具体的な手法を分かりやすく啓発していく必要があります。「かつしかルール」の呼びかけや「ごみ減量の日」の取組などを通じ、「雑紙の分別」「食材の食べ切り・使い切り」「マイバッグの利用」など、その日から手軽に取り組めるような事を、分かりやすく情報発信していくことが重要となります。

#### (3) 様々な機会や媒体での情報発信とターゲットに応じた働きかけ

チラシやカレンダー、広報かつしか等の充実を図るとともに、地域での環境学習（出前講座）やイベントでの周知など、様々な媒体・機会を繰り返し啓発をしていくことで、より多くの方々に広く情報を提供することができます。

その一方で、性別や年齢に応じて必要な情報や取り組むべき課題が分かれている状況があります。区内大学との連携を図り、ごみ出しの初心者とも言える若年層に向けた情報の発信方法を検討することや、男性の買い物やごみ出しなどに関する講座やイベントを企画することなど、今後はターゲットに応じた働きかけが求められています。

#### 委員からの意見

＜委員＞ まだ食べられる食品で余ってしまった物を、今必要としている方たちに提供するという取組みが各地で普及している。自社でも毎年工場の敷地の一部を開放してご近所の人たちをお招きするイベントを実施している。区との協働のもとで、そうしたイベントの中で余剰食品の募集をしてごみ減量につなげられないか。

➤ ＜区＞ 廃棄される食品の問題について、国からも自治体レベルの取組を求められている。世田谷区でも「フードドライブ」といい、まだ食べられる食料品を集めて必要としている方に循環させていく取組みがある。ぜひ協議会の中で検討していただければと思う。

➤ ＜委員＞ 賞味期限切れの食品は記載されている期限に対して長持ちする物もあると思う。そうした物を家畜のえさにすれば有効ではないか。

- <区> そうした余った食品に関してはまず人に行き渡らないか考え、次の策としてそうした家畜のえさや肥料での活用方法もあると思う。
- <部会長> 工場でのイベントは、先ほど話題に上がった「フードドライブ」のように区民に対しての食品の募集・提供などの実際の行動啓発はおこなっているのか。
- <委員> 自社が取り組んでいるごみ減量のPRはおこなっているが、一般家庭の協力への訴えかけはおこなっていない。

<委員> 広く区民に普及啓発する方法として、「資源とごみの収集カレンダー」があると思うが、年間の作成部数や世帯数、全世帯に行き渡っているかどうかを知りたい。

- <区> 「資源とごみの収集カレンダー」は、今年度は23万7700部作成している。配布については、葛飾区の世帯数約22万世帯に加えて、区の収集に出している事業者に向けておこなっている。今年の配布予定は2月19日からで、業者委託により全戸配布する。また年度途中での転入転居者に対しては、カレンダーではないが収集日をお知らせする一覧表を渡している。

<委員> 過剰包装について。遠方で買ったおみやげの包装が過剰であると感じる。葛飾区のごみになってしまうので、日本全体での啓発活動が必要ではないか。

- <区> おっしゃる通り国レベルで取り組む必要があると感じる。区長会を通じて国や都、各関係団体にも過剰包装についての要望はおこなっているが、今後も継続して取り組んでいく。

<委員> 自分たちは商売が軌道に乗る分、ごみが多くなるというジレンマがある。しかし携帯電話に含まれるレアメタルや家電製品など、リサイクルできる資源は沢山あると思う。今回議題で上がっているイベントや、紙媒体での普及啓発という手法は、どうしても経費がかかってしまう一面がある。区民からの不要な電化製品のリサイクル品の売却金によって、協議会としての自主財源を作って、イベントを運営したり、若年層に向けた「キャラクターを取り入れたマイバッグ」などの普及啓発グッズを作成したりするのはどうか。

- <区> まず家電製品については、家電リサイクル法により、必ずリサイクルしなければならない決まりがある。また携帯電話などの小型家電に関しては、今年度の12月から区内の一部の店頭などで拠点回収を始めた。しかしこうしたリサイクル品に関しては、毎日ごみとして出るという物でもなく、得られた量に対しての収集運搬費用や再資源化費用が多くかかるので、財源の確保は困難という現状がある。ただリサイクルという考え方自体は有効なアプローチであると思うので、今後も検討していければと思う。

<部会長> まずは第一に発生抑制だとする課題があるが、製造業の方で容器包装について取り組んでいる事例はあるか。

- <委員> 包装に関しては、壊れないようにすることや形が悪くならないようにす

ることなど、制作する上での基準がどうしても存在する。そうした基準の中で容器包装を簡素化できるように努力している。

<部会長> 区内大学との連携といった話題があったが、区内には東京理科大学をはじめ、葛飾総合高校などの教育機関も揃っている。葛飾総合高校では毎日ごみの分別を教育しているという話を聞いたことがあるが、区の管轄の小中学校はどのような取組をしているか。

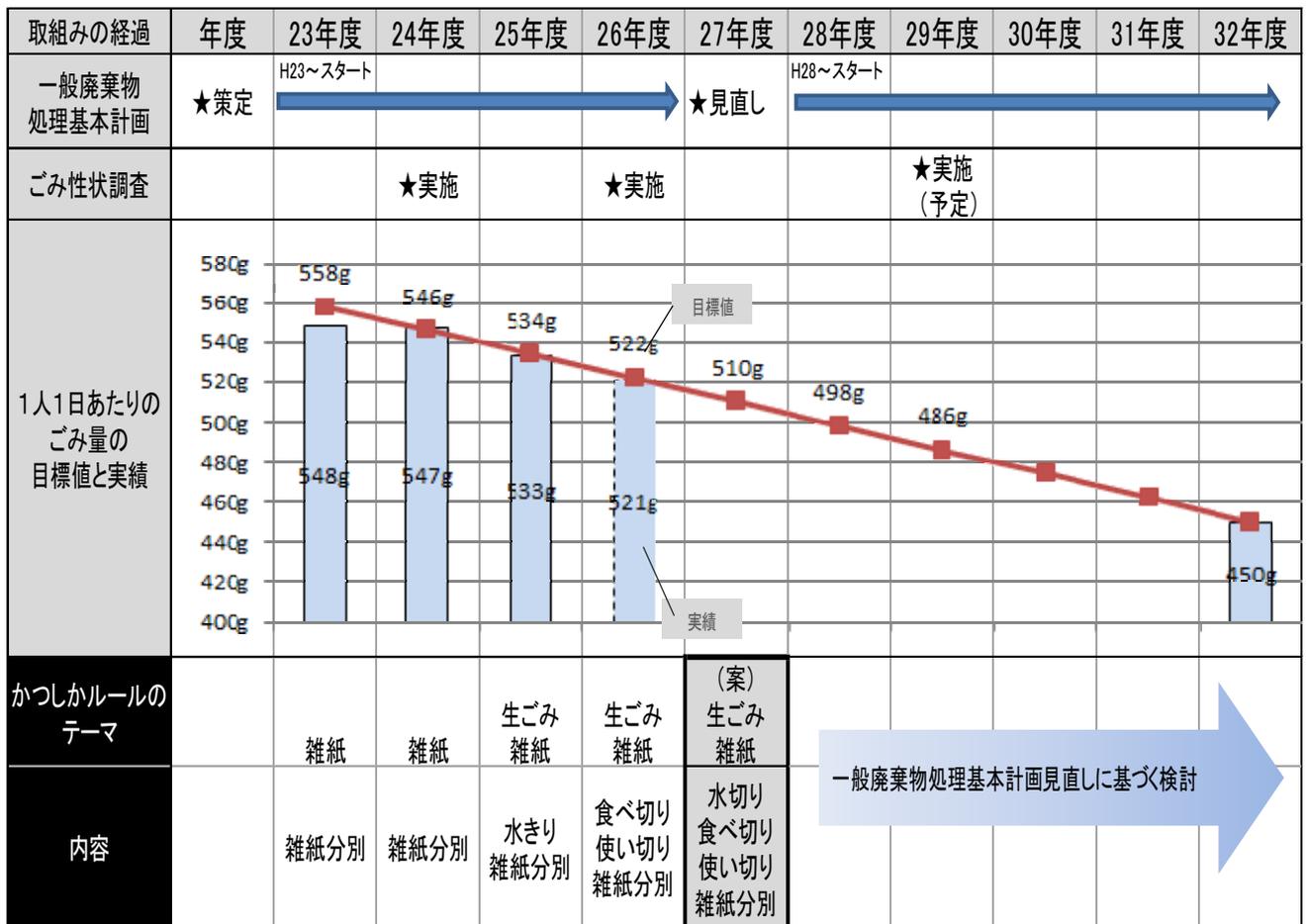
➤ <区> 区の方で、環境学習として区立の小学校4年生の授業の中で、3Rを意識させる学習に取り組んでいる。中学1年生に対しては、授業のコマ数の関係等でなかなか実施が難しい現状がある。

## 4 かつしかルールについて

### (1) かつしかルールについて

「葛飾でごみを減量するためには、これだけを実践しましょう」という取組を「かつしかルール」と位置付け、区民・事業者に対し、広く実践を呼び掛けています。テーマについては、その時々課題にかんがみ、検討を行っています。

### (2) 取組みの経過



### (3) 27年度取組について

葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）では、平成32年までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を450gまで削減することを目標にしています。

このため、平成27年度のかつしかルールの設定にあたっては、引き続き生ごみの減量や雑紙の分別など、より削減効果の高いものから優先的に取り組む必要があります。

平成27年度のかつしかルール（案）  
 生ごみの減量に取り組む  
 雑紙を徹底して分別し、資源にする

平成27年度のかつしかルールについては、事務局提案の「生ごみの減量に取り組む」、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」を引き続き呼びかけていくことが了承された。

## 5 ごみ減量の日取組について

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うことにより効果的なPRを行っていきます。

※平成27年4月から9月までの取組内容（小売店向け）の提案（例）

|                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 容器包装（プラマーク）の削減を呼び掛ける提案 | 簡易な包装やシールでよいかお客様に呼びかけましょう。 |
|                        | マイバッグの利用を呼びかけましょう。         |

※平成27年4月から9月までの取組内容（事業者向け）の提案（例）

|                      |                                     |
|----------------------|-------------------------------------|
| 雑紙の分別や紙ごみの減量を呼び掛ける提案 | リサイクルしやすい環境を整え、できる限り紙類の資源化につとめましょう。 |
| 生ごみの減量（食べ切り）を呼び掛ける提案 | 昼食は食べ残さないようにしましょう。                  |

平成27年4月から9月までのごみ減量の日取組内容のうち、小売店向けの取組については、2案のうち、容器包装の削減を呼びかける「マイバッグの利用を呼びかけましょう」を採用することが多数決で了承された。事業所向けの取組については、2案のうち、雑紙の分別や紙ごみの減量を呼びかける「リサイクルしやすい環境を整え、できる限り紙類の資源化につとめましょう」を採用することが多数決で了承された。

### その他の意見として

＜部会長＞ お店を利用する際に感じる事として、「マイバッグをお持ちですか」というより、「レジ袋を利用されますか」という呼びかけのほうが、お客様も答えやすく非常に良いと個人的に思う。「簡易な包装やシールでよろしいですか」というのはお店側がお客様に聞くのか？

➤ <区> 確かに口に出して呼びかけるのは難しいこともあると思う。お客様への配慮という点から考えて、意味が同じで他の呼びかけ方があればそれでも良いと思う。

＜委員＞ 商品や使い道によって、簡易な包装でよいかどうか分かれる。そもそも「包装が必ずしも必要だ」という考え方自体を変えていかなければならないのではないか。

➤ <区> 確かにTPOに応じて使い分けが必要だと思う。「包装が必ずしも必要だ」という考え方に対しては、今後長い目で転換させていく必要があるように思うが、今回はあくまで27年4月から9月までの期間を設けた取り組みである。その期間だけでも

気軽におこなえるような取り組みとしてPRしていただければ  
と思う。

<委員> ごみ減量キャンペーン以外の、3Rに関するイベントや取組があるのか。

➤ <区> リサイクル清掃課主催としては、清掃工場との協働事業で毎年  
秋に「ごみ減量・清掃フェアかつしか」を実施している。また推進  
協議会主催で秋の「産業フェア」にブース出展したり、春には「環  
境・緑化フェア」へのブース出展をしたり、その他個々に地域のイ  
ベントに出向いてごみ減量・3RのPRをおこなったりしている。

➤ <委員> 先ほどリサイクル品を収集することが大変だという話もあっ  
たが、今おっしゃったイベントの機会を利用してリサイクル品の  
収集や交換をおこなえたらよいのではないかと思う。ごみ減量の  
啓蒙啓発だけでなく、具体的にリサイクルの取組をおこなうこと  
で、資源を循環させていくことも必要なのではないか。

➤ <区> 確かにそういう取組は必要だと思う。今後色々と検討していきたい。

## 6 26年度の取組（報告）

### （1）ごみ減量月間の取組結果について

#### ①街頭キャンペーンの実施

身近にごみの発生抑制に取り組むことができるマイバッグ持参キャンペーンを、13会場（下記参照）にて実施しました。会場ではごみの減量に関するアンケートの実施と協力いただいた方にマイバッグ(買い物袋)の配布を行い、併せて、今年度の「かつしかルール」である生ごみの減量・雑紙の分別についてのちらしでPRを行い、ごみの減量を呼びかけました。

\*アンケート協力者数 2,328名

\*実施地区・日時・会場

| 地区   | 日時                 | 会場  |
|------|--------------------|---|
| 堀切   | 9月29日(月) 午後4時～     | 堀切菖蒲園駅前(堀切商店連合会)                          |
| 新小岩  | 10月 4日(土) 午後2時～    | 西友新小岩店                                    |
| 金町   | 10月 4日(土) 午後5時～    | 末広商店会                                     |
| 四つ木  | 10月 5日(日) 午後1時30分～ | まいろーど四つ木商店街 (雨天のため中止)                     |
| 金町   | 10月 5日(日) 午後4時～    | 金町しょうぶ通り商店会 (雨天のため中止)                     |
| 金町   | 10月 9日(木) 午後3時～    | 金町とうきゅう                                   |
| 亀有   | 10月15日(水) 午後4時～    | イトーヨーカドー亀有駅前店                             |
| 鎌倉   | 10月18日(土) 午前11時～   | 千代田通商店会                                   |
| 新小岩  | 10月18日(土) 午後3時～    | みのり商店会                                    |
| 柴又   | 10月19日(日) 午後3時～    | 新柴又駅前(柴又中央会・柴又親商会)                        |
| 亀有   | 10月25日(土) 午後3時～    | かめありリリオパーク入口<br>(亀有地区町会自治会連合会・亀有地区商店街協議会) |
| お花茶屋 | 10月25日(土) 午後3時～    | お花茶屋商店街                                   |
| 水元   | 10月26日(日) 午前10時～   | 葛飾清掃工場(ごみ減量・清掃フェア)                        |
| 高砂   | 10月26日(日) 正午～      | 区立高砂北公園<br>(高砂商店会・高砂卫ビス通り商店会・高砂南町商友会)     |
| 立石   | 10月31日(金) 午後3時～    | 立石仲見世商店街                                  |

## ②ごみ減量月間協力団体・事業者

| 団体            | 内容                                    |
|---------------|---------------------------------------|
| 葛飾区自治町会連合会    | キャンペーンの従事                             |
| 葛飾清掃協力会       | キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力      |
| 葛飾東清掃協力会      | キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力      |
| 葛飾区消費者団体連合会   | キャンペーンの従事・マイバッグに関する事前アンケート調査への協力      |
| 葛飾区商店街連合会     | 街頭キャンペーン会場の提供<br>ポスター掲示・街頭放送、ちらしによるPR |
| イトーヨーカドー亀有駅前店 | 街頭キャンペーン会場の提供<br>ポスター掲示・店内放送          |
| 金町とうきゅう       |                                       |
| 西友新小岩店        |                                       |
| 森永乳業株式会社      | みのり商店会街頭キャンペーン参加者へのパック飲料の提供           |
| かつしかエフエム      | PR放送                                  |

以上の団体以外の皆さんからも、ポスターの掲示や店頭放送等のご協力をいただきました。また、日本大学学生や3R推進パートナーの皆さんに各会場においてアンケート収集やバッグの配布にご協力をいただきました。

## ③ごみ減量キャンペーンにおける区の実績結果

- \* 「広報かつしか」9月15日号やホームページを通じたPR
- \* PRポスターの作成、掲示、配布
- \* キャンペーン物品の用意、職員の配置、その他各種準備・調整

## (2)「かつしかルール」の実績状況について

平成26年度は、前年度に引き続き、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」および「生ごみの減量」を個別ルールとし、取り組みをおこなった。

『雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする』  
『生ごみの減量に取り組む』

### ①平成26年度の実績状況

#### (ア) 広報紙での周知（9月15日号）

広報紙において、生ごみの減量のための「水切り・食べ切り・使い切り」についてPRを行った。

#### (イ) 町会回覧での周知（10月実施、平成27年3月予定）

自治町会連合会の町会回覧向けに、「食べ残しをしないようにしましょう」という視点から、生ごみ減量の必要性について説明をしたちらしを作成し回覧を行った。

(ウ) 小売店・事業所などでの周知（11月実施、平成27年3月予定）

葛飾区商店街連合会、東京商工会議所葛飾支部で紙類のリサイクルや不要な包装を断ることについての啓発ちらしを会員事業者に配布した。

(エ) ごみ減量キャンペーンでの周知（9～10月実施）

ごみ減量キャンペーンでアンケートに雑紙の分別や生ごみの減量に対する意識調査の項目を入れた。また、マイバッグの配布と併せ雑紙の分別および生ごみの減量に関するちらしを作成し配布を行った。

(オ) イベントでの周知

9月5日～7日に実施された産業フェアの推進協議会出展ブースにおいて、来場した区民に、食材の食べ切りや使い切りの方法を学べるクイズや雑紙の分別に関するクイズを行い、終了後解説をする形で啓発を行った。

(カ) 普及啓発グッズの配布

生ごみの減量を促進するため、イベント時に「かつしかルール」をPRした普及啓発グッズを配布した。今年度は「残さず食べよう」と印字したマイ箸セットを10月11～12日の消費生活展と10月26日のごみ減量・清掃フェアにて配布した。

(キ) かつしかFMでの周知（年3回）

かつしかFMのスポットCMで「かつしかルール」のPRをおこなった。

(ク) ごみの収集カレンダーでの周知（2月～3月ごろ配布予定）

資源とごみの収集カレンダーに「かつしかルール」についてのページを作成し、食材の使い切りの方法などのPRを行う。

### (3)「ごみ減量の日」の取組について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組むべき目標を提示し、呼びかけることにより、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っている。

#### ①平成26年度に呼びかけた取組内容

\*平成26年4月から9月までの取組内容

|          |   |
|----------|---|
| 区民       | お買い物に出かける前に、今必要な食材が何かを考えると、無駄に捨ててしまう食材を減らしましょう。 |
| 事業者（小売業） | お客様の紙ごみを減らすために、過剰な包装を見直しましょう。                   |
| 事業者（事業所） | 職場の紙ごみを減らすために、使用済みの資料は極力リサイクルにまわしましょう。          |

\*平成26年10月から平成27年3月までの取り組み内容

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 区民       | 食べ残しをしないように工夫しましょう。                |
| 事業者（小売業） | お客様にレジ袋や包装が必要かできるだけ声掛けしましょう。       |
| 事業者（事業所） | 封筒やチラシなど細かい紙ごみを資源化できるよう分別を徹底しましょう。 |

②平成26年度「ごみ減量の日」のPRについて

(ア) 小売店向けPR (4月、11月)

葛飾区商店街連合会で、ちらしの裏面を店内に掲示できるポスター形式とし、それを掲示することにより、区民への小売店の取組の周知につながるものを年2回作成し、商店街の各店舗に配布してPRを行った。

(イ) 事業所向けPR (5月、11月)

東京商工会議所葛飾支部で、ちらしの裏面を事業所に掲示できるポスター形式のちらしを作成し、それを掲示することで、事業所内で取組を周知できるものを年2回会員にダイレクトメールで配布してPRを行った。

(ウ) ごみ減量キャンペーンでのPR

10月の「ごみ減量月間」に行うごみ減量キャンペーン時に、取組を呼びかける内容を含めたちらしの配布を行った。

(エ) その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行った。

(4) かつしかエコライフプラザにおける取組について

かつしかエコライフプラザにおいて、かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会の会員である事業者に、子供を対象に3Rや環境の啓発を目的としたイベントを実施していただいた。

◆平成26年度推進協議会参加事業者を実施及び実施予定いただいているイベント

| 実施事業者           | 実施日       | イベント名                  | 実施状況  |
|-----------------|-----------|------------------------|---|
| 森永乳業株式会社 (東京工場) | 8/23      | 使用済み牛乳パックによる紙すきはがき作り教室 | 牛乳パックのリサイクルについての説明後、水に溶かした使用済みの牛乳パックを紙すきして、はがきを作る。<br>(小学生と保護者対象) |
| 株式会社杉野ゴム化学工業所   | 2/21 (予定) | リサイクルゴム工作              | リサイクルゴムを型抜きし、好きな形の飾り付けをしたマイ消しゴムを作る。<br>(小学生以下対象)                  |

## (5) マイバッグ利用促進の取組

平成26年度は昨年度に引き続き、お花茶屋商店街と千代田通商店会において、マイバッグを利用することでポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら景品（古紙をリサイクルしたティッシュペーパー）を配布する取組を実施している。

### 【お花茶屋商店街】

- ・実施時期 平成26年10月25日（土）～平成27年3月31日（火）
- ・参加店舗 約50店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。20ポイントスタンプが貯まるとりー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 10月25日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。
- ・主な聞き取り内容
  - ・事業開始当初に比べて、マイバッグを利用している区民は増えているように感じる。また「シールだけでもよい」といった声や、「生鮮食品でも最低限の袋だけでよい」といった声がお客様の方から上がってくることも多くなった印象。
  - ・さらに多くの方にマイバッグを利用してもらうには、今後それぞれのお店ごとのより一層の働きかけが必要になってくると感じている。

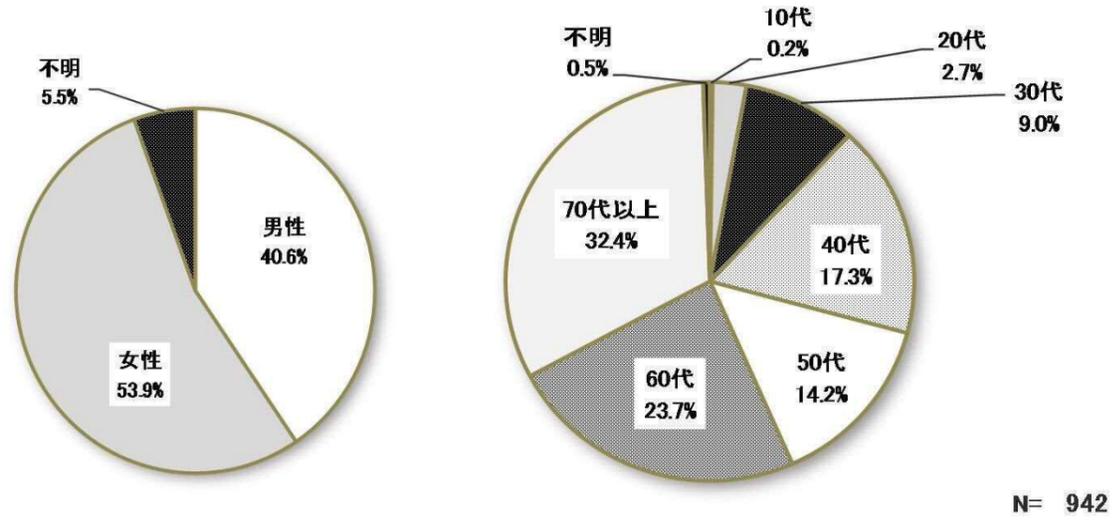
### 【千代田通商店会】

- ・実施時期 平成26年10月18日（土）～平成27年3月31日（火）
- ・参加店舗 約30店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まるとりー（Ree）ちゃんペーパー（ティッシュ）と交換
- ・実施状況 10月18日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。
- ・主な聞き取り内容
  - ・事業開始当初に比べて、スタンプカードの引渡数は増えている。しかし利用者が偏っている傾向にあること、制度実施期間に限ってマイバッグを利用する方が多いように感じるなど、事業の成果が不十分な部分もあるような印象。
  - ・上記のような状況に対しては、制度実施期間に限らずとも、より多くの方に包装を断り、マイバッグを利用してもらえるような仕組みづくりを検討していく必要があると感じている。

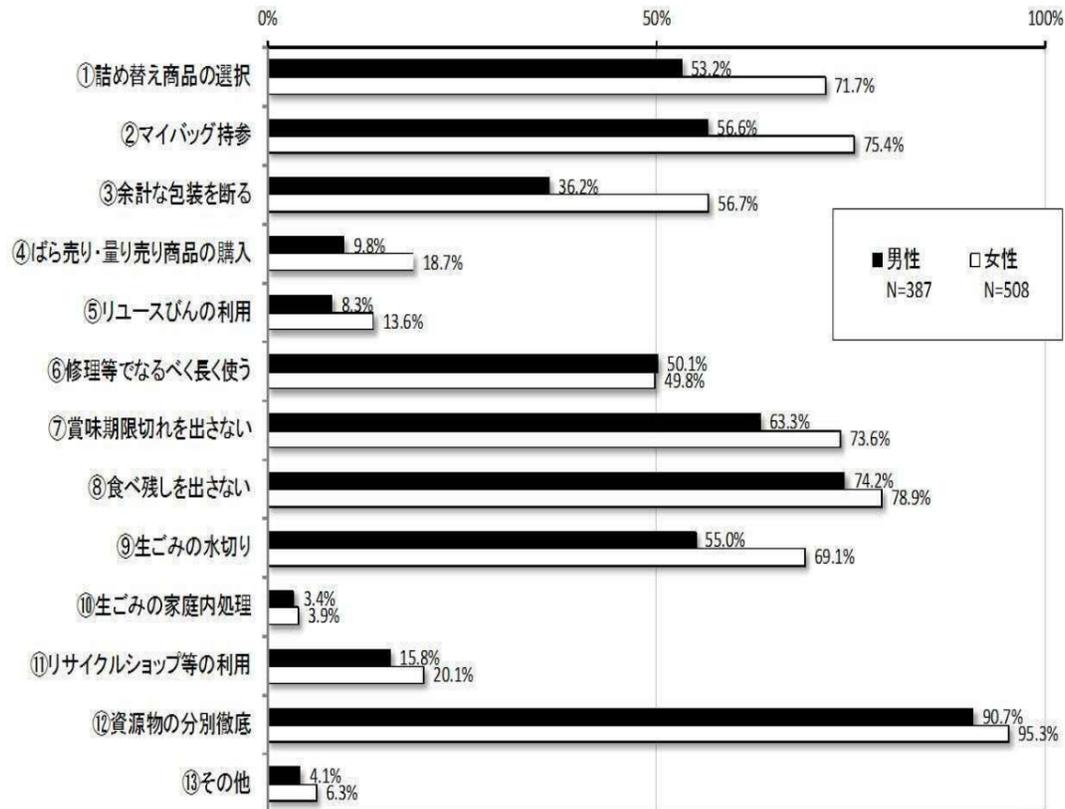
特に意見・質問なし

参考資料1

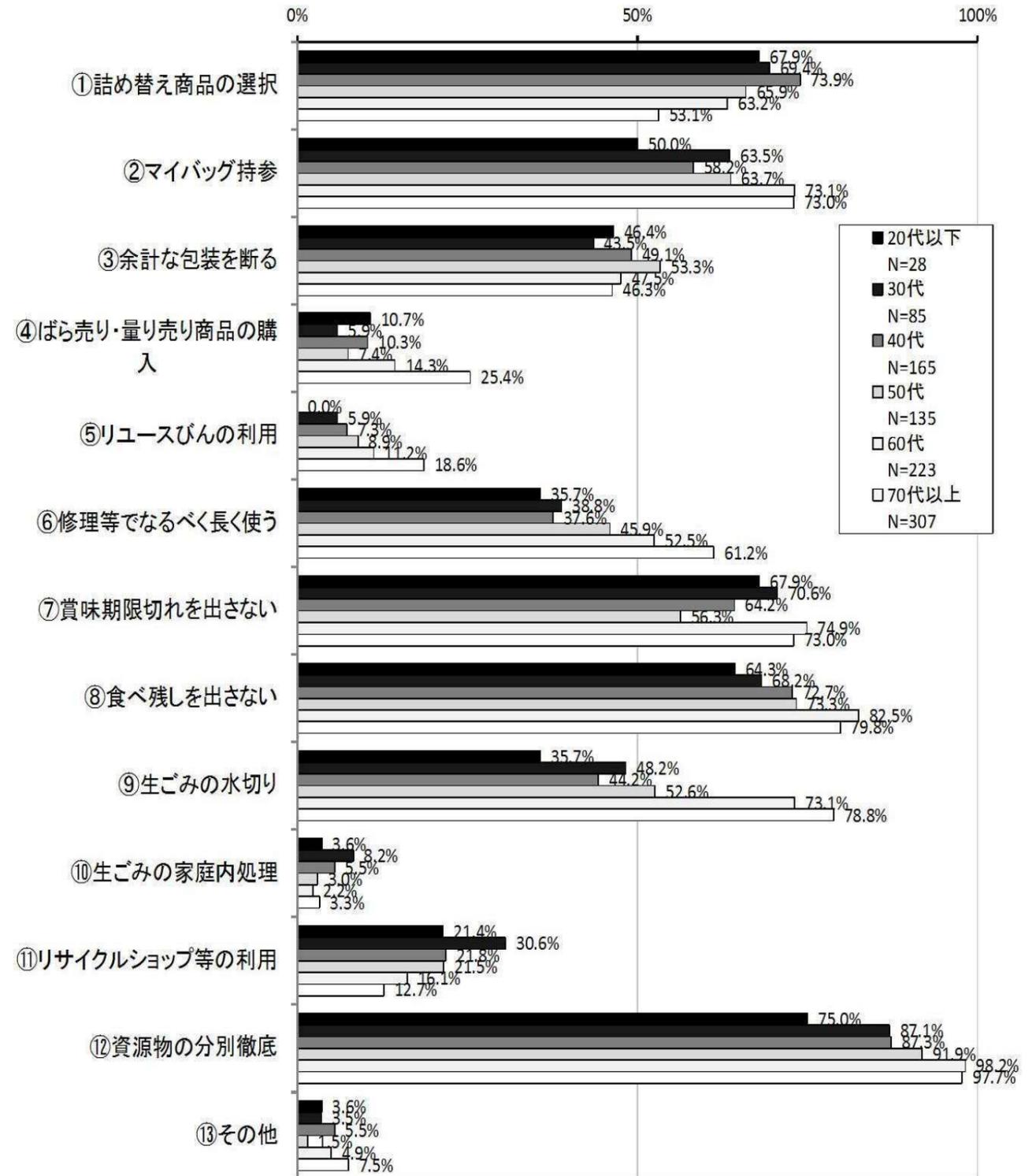
資料(1) 「区民アンケート」の男女別・年齢別割合



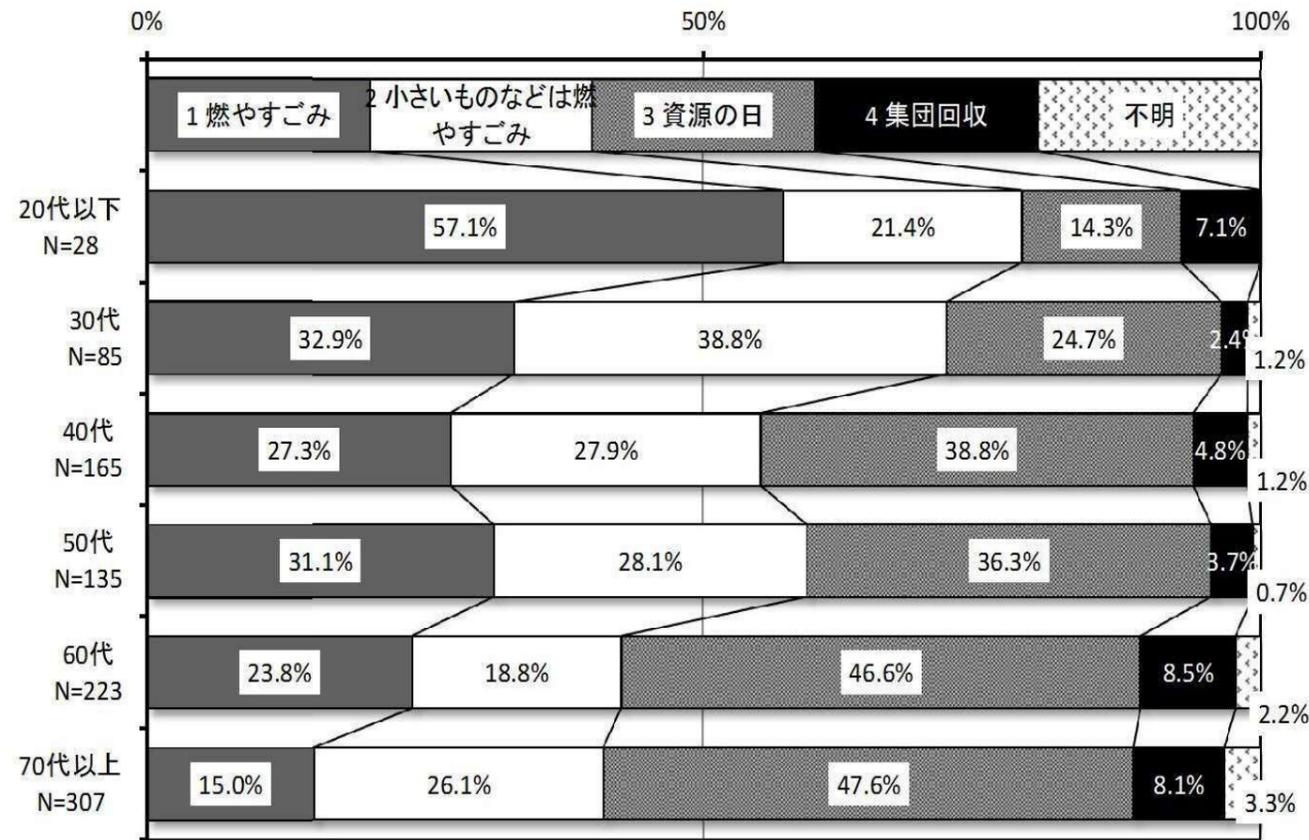
資料(2) 「区民アンケート」問2:あなたが、日頃ごみ減量のためにやっていることに○を付けてください。男女別回答割合



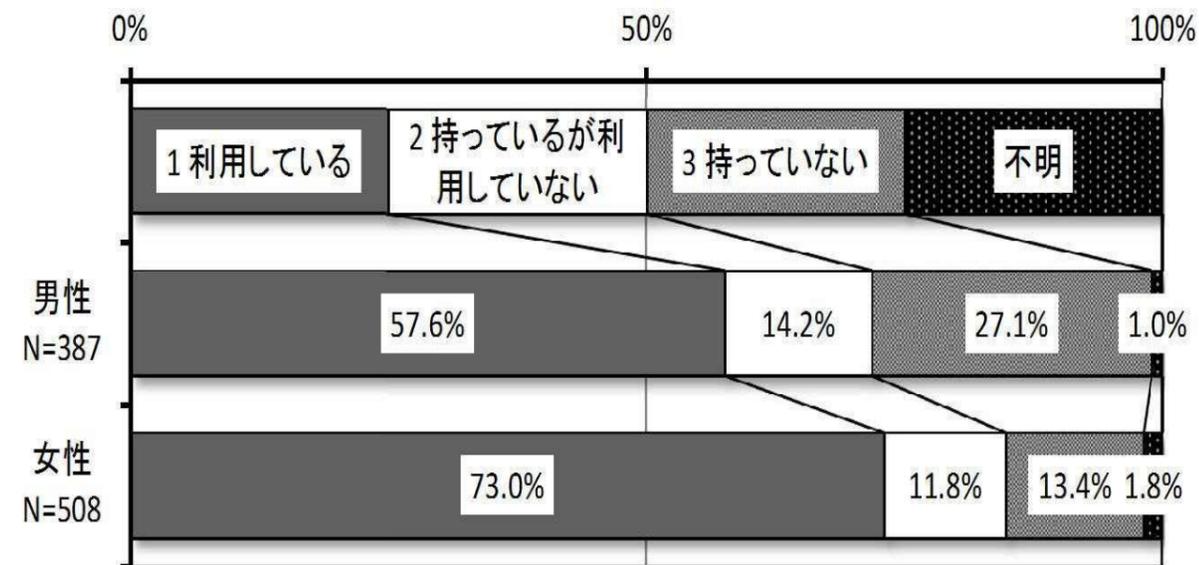
資料(3) 「区民アンケート」問2:あなたが、日頃ごみ減量のためにやっていることに○を付けてください。年齢別回答割合



資料(4) 「区民アンケート」問4:紙箱・紙袋・包装紙、コピー用紙などの雑紙(ざつがみ)についてお聞きます。普段、雑紙の分別はどうされていますか。年齢別回答割合



資料(5) 「区民アンケート」問5:スーパーや商店での買い物の際マイバッグを利用していますか。男女別回答割合



資料(6) 「区民アンケート」問6:今後、区のごみ減量に関する情報提供・PR活動にどんなことを望みますか。年齢別回答割合

